



富士山とともに 輝く未来を拓くまち
SDGs 未来都市 富士市

田子幼だより 新聞紙遊び

令和8年6月17日
富士市立田子浦幼稚園長
0545-61-2154

園目標 あかるく やさしく たくましく
～粘り強く「やってみよう!」とする子を育てていきます～



遊びの中にインフォーマル算数が生まれています。(年長)

【新聞紙遊び】4月

教師が子どもの目に付きやすい場所で新聞紙を巻いて棒を作り始めました。5～6人の子どもがすぐに興味を示し「やってみよう」と、とりかかりました。しかし、子どもだけで巻くことが難しく、翌日の参加日に保護者に手伝ってもらうことになりました。保護者と一緒に、棒を作り、組み合わせて、テントや電車に見立てて、自由に組み合わせを楽しむ姿が見られました。保護者の方が夢中になって遊んでくれたので、とても盛り上がった活動になりました。

私もやってみよう。

どうやったら、先生みたいに巻けるのかな。



お父さんもお母さんも夢中になって遊んでくれました。

同じ太さと長さの棒を選んでみよう。



三角が上手にできたよ。



テントみたいにしたいね。どうやったらできるかな。三角をたくさん作って、合体させよう。



新幹線の運転席みたい。

【新聞紙遊びについて】

- ★インフォーマル算数とは、幼児期に生活の中で獲得される数知識です。
- ★新聞紙の棒を何本も作り、組み合わせてどんな形を構成していくか、図形(平面→立体)を遊びの中で知っていきます。
- ★「巻く」活動は指先を使うため、微細運動につながります。
- ★一人ではできないため、誰かと(友だち、先生等)一緒に作る協同的な造形活動ができます。
- ★どんなものができるか、想像力や発想力を養います。
- ★新聞紙の素材は、資源の再利用でSDGsにつながります。
- ★紙(新聞紙)の特性に気付くことができます。
- ★何度でもやり直したり試したりして遊ぶことができ、失敗してもあきらめない気持ちを養います。

【新聞紙遊び】6月

インフォーマル算数：遊びの中で三角と四角を立体的に捉え遊んでいます。テントの形も変化し、新聞紙以外の素材も加えて楽しんでいます。友だちとイメージを共有できるようになると、作りたいものを言葉にし、遊びがどんどん深まってきました。自分の意見と友だちの意見が一致する嬉しさやひらめきを認められた時の満足感が、友達との関係づくりに大きな変化をもたらしています。



新聞紙を縦にして、柱にするとどうなるかな。

三角を組み合わせてみたよ。中に入れるね。



四角ができた。

三角持ってきたよ。どこに付ける？



ここを持っているね。

立ち上がった！

新聞紙の棒をもっと作ろう。

この中に、空き箱で幼稚園を作ろう。



こんな形ができたよ。



新聞紙がグニャグニャしてきたよ。
なんで？
新聞紙の特性に気づいたね。
湿気があるからだよ。



園長のつぶやき

この新聞紙遊びは「テトラ」と言い、先生たちが自己研修（静岡大学）で学んできた活動です。学んできたことを保育で実践しました。子どもの育ちにつながっていると実感できると、研修の価値を確認することができます。今後も先生たちは、よい教育保育をするために研修を積み重ねていきたいと思います。

